

平和と くらした全効 又市・当選 三たび 国政へ



7月22日午前2時55分。テレビを見守る支持者の目に、突然その知らせは飛び込んできた。「社民党 又市征治 当確」思わず「出た!」「やった」と声を上げ、握手を交わし喜び事務局のメンバー。(写真左下・「当選」の報に笑顔の又市さん、右下は花束を受けとる又市佐貴子さん)



月2回刊=第1393号
2013年7月30日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所
盛岡市内丸10番1号
岩手県庁内
岩手県職員労働組合
印刷所
盛岡市上田二丁目17-4
有限会社 ジロー印刷企画
一部 40円
組合員購読料は組合費に含む

団体生命共済が
ますます充実!
不慮の事故、病気のときは
日帰り
入院からお支払い
全国の仲間同士の助け合いだからこそ実現
できる安心です。あなたも是非
ご加入ください。
じちろうの団体生命共済
自治労共済本部
詳しくは所属する組合まで

多くの皆様のご支援に感謝します

働く者の政治取り戻す たたかいを再スタートさせよう!

21日、第23回参議院議員選挙の投票が行われ、比例区で県職労が推薦した「又市征治」さんが15万6千票余りを獲得して議席を守り、見事三選を勝ち取った。また、選挙区で県職労が支援した関根敏伸さんは議席の獲得はならなかった。

今参議院選挙で社民党は一議席の獲得にとどまるなど、働く者の暮らしや護憲を訴える政党の得票が大きくなることはなかった。その一方で、自民党が改選前議席を大きく上回り自・公の与党が過半数を獲得したことで、暴走を続ける政府自民党への牽制機能の縮小を許してしまった。

2013 人勸 依然として「勧告の姿形」見えず

7・30給与局長交渉 中央行動で押し上げへ

公務員連絡会は17日、人事院との交渉を行い、勧告に向けた作業状況を確認したが、人事院の平野職員団体審議官は「集計中」「検討している」とする回答だけで、今年の勧告・報告の姿形がどうなるのかは全く明らかにならず、30日の局長交渉での回答を求めている。

公務員連絡会は17日、人事院との交渉を行い、勧告に向けた作業状況を確認したが、人事院の平野職員団体審議官は「集計中」「検討している」とする回答だけで、今年の勧告・報告の姿形がどうなるのかは全く明らかにならず、30日の局長交渉での回答を求めている。

地方交付税財源確保・政府に要請

「総務大臣」あて 家族署名取り組み中!

組合員をはじめ、多くの職員の皆様のご協力をお願いします。

「署名終わりました」か? と職場の中で、声を掛け合いながら もう一度確認をお願いします。

◎署名の集約は、8月中旬◎

ちの生活・職場環境にどのような影響が及んでいるのか、日ごろの仕事にどのように関係しているかなど、日常的な活動と私たちの政治闘争を融合させながら取り組みを進めていくことがこれまで以上に重要になる。

今まさに、働く者の生活がしっかりと守られる政治を実現させていくためのた

第五世代

ネット選挙が解禁されて初めての選挙となった第23回参議院選が終わった。各政党候補者は、ネットを活用した選挙戦を展開したが、ネット上の情報を参考にした有権者はわずか1割だったとする報道もあるなど、ネット選挙の恩恵がどれだけあったかは不明だ。芸能界でも、ファンとの距離を縮める手軽なコミュニケーションツールとしてツイッターやブログが使われている。多くのフォロワーを得た芸能者がいる一方で、一般ユーザーとのトラブルやブログの炎上により、閉鎖する事態が後を絶たない。

ネット選挙が解禁されて初めての選挙となった第23回参議院選が終わった。各政党候補者は、ネットを活用した選挙戦を展開したが、ネット上の情報を参考にした有権者はわずか1割だったとする報道もあるなど、ネット選挙の恩恵がどれだけあったかは不明だ。芸能界でも、ファンとの距離を縮める手軽なコミュニケーションツールとしてツイッターやブログが使われている。多くのフォロワーを得た芸能者がいる一方で、一般ユーザーとのトラブルやブログの炎上により、閉鎖する事態が後を絶たない。



○県庁支部・佐々木代議員

・公務員制度改革について、政権も交代したが、現在どのようなになっているのか。県職労としてはどうしているべきか。



○花巻支部・橋本代議員

方針に対する質疑

・臨時職員、非常勤職員の組織化について、今後どのようなスケジュールでこの組織化についての取り組みを進めていくのか。

・最高号給者の処遇改善について、特に4級最高号給到達者については、5級に比べて、あまり話題として取り上げられていないと感じる。5級、4級それぞれ、最高号給到達者が何人いるか把握しているか。

・人員課題について、今年度、運転技師3人が退職する。昨年度は、職場の要求を主管課交渉へつなげ、主管課から人事課へ上申した部分の確認をするなど、きめ細かな交渉をしてきた。その成果が実を結んだということも踏まえて、今年もこれらの取り組みをしていきたい。協力をお願いする。再任用について、雇用と

ないか。また、国に対して、もって自治労が結集して、闘争すべきではなかったか。非常に中央での取り組みの仕方が弱いと感じた。

・交通事故を起こして起訴されると、執行猶予付きであっても禁固以上の刑が確定すれば失職するのが原則だが、条例に特別の定めがあればその限りではないと、地方公務員法にある。簡単な問題なので、地方公共団体自体が国から攻撃を受けているのだという観点で捉えれば、一般市民の支援も受けられると思う。今後はそういった観点で取り組みを進めていきたい。

・賃金削減阻止の取り組みについて、国が一方的に地方の財源を削るといふ大きな問題なので、地方公共団体自体が国から攻撃を受けているのだという観点で捉えれば、一般市民の支援も受けられると思う。今後はそういった観点で取り組みを進めていきたい。

・給与削減について、いわゆる国家公務員を下げてそれで合わせて地方公務員に波及させようとする動きが今後強まるのではないかと危機感を抱いている。国段階で削減させないことが重要。そのためには国政段階の取り組みが重要だと強く感じた。

・久慈では2回、早朝集会を開いた。どこの支部でも



写真左から、議長団の友友代議員(一関)、藤原代議員(久慈)

県職連合第14回・県職労第109回定期大会の概要については機関紙(6月30日付・第1391号)でお知らせしておりましたが、今号では大会での発言内容について掲載します。



組織の拡大と強化に向け団結ガンパロー

経過に対する質疑

・久慈支部では、単独での早朝集会を2回開催した。自治労は、人勸完全実施を求めてストライキをした経過がある。それを引き合いにすれば、今回の賃金カットは、あの当時よりもっと厳しい状況に置かれていた。もう少し闘争態勢を強化した方が良かったのでは

・久慈支部では、中央執行委員会が対応できずに、結果的に単独での開催をお願いした。協力に感謝する。学習会等を開きながら取り組みを進めてきたが、それぞれの支部でたまたか体制をいかにつけていくか、それが私たちの重要な課題だと思っている。

・県職労の会計処理は、県連合に負担金として一旦支出してから、県職労、工技センター労組それぞれに交付金として戻しているの

か、参考のために教えていただきたい。

会計に対する質疑

人生予報、晴れたり曇ったり

雨の日だってあるのが人生。仲間同士の助け合いで備えましょ。

入院は日帰りからお支払い、ケガのときは通院だけでも保障5大成人病の入院も手厚くカバー

◆お問い合わせ・お申し込みは組合へ

じちろうの団体生命共済

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済本部

全日本自治体労働者共済生活協同組合

上部団体負担金支出から交付金収入相当額を除いた額となる。

委員長総括答弁 (要旨)



総括答弁する平中委員長

賃金カットへの発言をいただいた。もうこれ以上は死活問題だと、正に譲れない闘い、そんな状況に今あるのだと思う。今日の本部方針、総括は中間であり、

今後、議員との政策懇談会も含めて議会対策を行い、そこをまた一つの起爆剤にして賃金カット阻止に向けて新たな取り組みを展開する。各支部・分会における

力を合わせて暮らして生活守る取り組みを

取り組みへの協力をお願いしたい。一方、これまでの積み残し課題がなかなかうまく進んでいないことも併せて触れられた。賃金カットという大問題が出て、賃金どころかそもそも基本をなす労働条件そのものが全然改善していないことなど訴えのの一つ一つは、いかにして皆が安心して働ける職

場づくりを続けていくにつながる。賃金カット阻止闘争も含めて日々の職場点検を併せて取り組んでいかなくてはならないということとを全体で意思確認ができたいと思う。県庁支部から組合脱退の話があった。触れたくないわばタブー的な話になっていくと思う。組合員が一つのサインを出してきた。自

分は困っているのだということも訴えている。しかしながら、自分のマイナスイメージを直ちに明らかにするということに抵抗がある中で、組合が単に役員だということとでなく、職場の仲間がその言ったマイナスイメージをどう受け止めてやるか、その言ったことが何より私たちに求められているのだと思う。これが組合活動の本来的な組織づくり、仲間づくりにつながっていくことだと思ふ。

くりのための学習が必要だとの発言があった。提起にもあった報告集がその一つ。今年度いち早く、胆江、一関、釜石で支部体制を立ち上げたが、年度初めからのこのいった賃金カット阻止闘争に対応するためにはやはり、切れ目なく分会・支部体制を作り上げていくことが必要。このことを皆で、あらためて確認をいただきたい。引き続き皆さん力を合わせて我々の暮らしや生活を守る取り組みを共に展開していこう。

◆**現業闘争について**
・ 現業の人員確保について、職場からの要求が主管課等でどう検討されているのかを点検しながら、人事当局へも、補充を求めていくという両方の取り組みを並行できたからこそ、9年ぶりの採用につながった。これは現業以外にも共通する。引き続き、職場段階からの要求を積み重ねていきたい。船舶職の定数については、知事部局も含めたトータル

◆**給与削減について**
・ 提案を行った当局と財政難の根本原因をつくった相手(政府)が違い、難しいたたかいが続いた。職場オルグでは、「削減理由の筋が合わない」という入口論だけでもダメ。ただただ押

◆**加入促進について**
・ 新採用研修時のガイダンスだけでは浸透していないのが現実。「行ってみようだった」と身近なところでの声かけをお願いしたい。6月29日のコーヒーマーケットも、ここに参加することだけを目的とせずに入ってもらったための声かけの材料として加入促進の強化をお願いしたい。

・ 教育委員会が所有する実習船1隻を新たに造ることになっていく。これに伴い、10人程の乗組員が不足する。おそらく船舶職全体で考えれば、知事部局の職員にも異動を含めて影響が出ると思う。本部として、動向について確認したい。

◆**任期付職員の処遇について**
・ 同じ職場で働く仲間の中にも多くの未組織の方々、

◆**脱退の状況について**
・ 横の連携を感じられずに組合を含めて誰にも悩みを相談できず脱退するというものもあるのだと思うが、そこには私たちが関わるヒントがある。運動が見えないという指摘も素直に受け止めて、関わり方を工夫しながら対応していく。

◆**加入促進について**
・ 新採用研修時のガイダンスだけでは浸透していないのが現実。「行ってみようだった」と身近なところでの声かけをお願いしたい。6月29日のコーヒーマーケットも、ここに参加することだけを目的とせずに入ってもらったための声かけの材料として加入促進の強化をお願いしたい。



釜石支部・藤井代議員

経験者がいない中でこまめなやり取りは、非常に素晴らしい成果と考える。今後、定期的に早朝集を開き、やり方をトレーニングしながら経験を積み、例えばスト等の体制を組めるように学習の場を設けていただきたい。運動のノウハウの伝承をしっかりと行うよう要望する。

◆**釜石支部・藤井代議員**
・ 4月の県職労ガイダンスでは、青婦部から計4人が参加して、率直な話を交えながら、自分たちなりにPRしてきた。引き続き職場での声かけをお願いしたい。また、6月29日には、青婦部で交流会を実施する。付添いの先輩も含めて参加したい。



胆江支部・中川代議員

書記長答弁



答弁する小田嶋書記長

◆**公務員制度改革について**
・ 本部を通しての要請等を継続しており、先日、国家公務員の給与条例の改正の際に、この公務員制度改革に係る法制上の措置を講ずることの附帯決議が採択された。それを踏まえて、社

◆**市町村で勤務をしている任期付職員からは、やっぱり働き方が厳しいという声をいただいている。不安を抱える中、頼れるのは組合だという期待に応えられるよう、丁寧に対応していきたい。**

◆**脱退の状況について**
・ 横の連携を感じられずに組合を含めて誰にも悩みを相談できず脱退するというものもあるのだと思うが、そこには私たちが関わるヒントがある。運動が見えないという指摘も素直に受け止めて、関わり方を工夫しながら対応していく。

◆**加入促進について**
・ 新採用研修時のガイダンスだけでは浸透していないのが現実。「行ってみようだった」と身近なところでの声かけをお願いしたい。6月29日のコーヒーマーケットも、ここに参加することだけを目的とせずに入ってもらったための声かけの材料として加入促進の強化をお願いしたい。

◆**加入促進について**
・ 新採用研修時のガイダンスだけでは浸透していないのが現実。「行ってみようだった」と身近なところでの声かけをお願いしたい。6月29日のコーヒーマーケットも、ここに参加することだけを目的とせずに入ってもらったための声かけの材料として加入促進の強化をお願いしたい。

◆**加入促進について**
・ 新採用研修時のガイダンスだけでは浸透していないのが現実。「行ってみようだった」と身近なところでの声かけをお願いしたい。6月29日のコーヒーマーケットも、ここに参加することだけを目的とせずに入ってもらったための声かけの材料として加入促進の強化をお願いしたい。

◆**加入促進について**
・ 新採用研修時のガイダンスだけでは浸透していないのが現実。「行ってみようだった」と身近なところでの声かけをお願いしたい。6月29日のコーヒーマーケットも、ここに参加することだけを目的とせずに入ってもらったための声かけの材料として加入促進の強化をお願いしたい。

火災共済は、小さな負担で、いざという時は「再取得価額」でみなさんの生活再建を支援します。同程度のものを修復・購入できる価額で損害を評価するので安心です。

いざという時の生活再建に

安心の「再取得価額」

じちろうの火災共済 自治労共済本部

●詳しくは所属する組合まで

◆**加入促進について**
・ 新採用研修時のガイダンスだけでは浸透していないのが現実。「行ってみようだった」と身近なところでの声かけをお願いしたい。6月29日のコーヒーマーケットも、ここに参加することだけを目的とせずに入ってもらったための声かけの材料として加入促進の強化をお願いしたい。

◆**加入促進について**
・ 新採用研修時のガイダンスだけでは浸透していないのが現実。「行ってみようだった」と身近なところでの声かけをお願いしたい。6月29日のコーヒーマーケットも、ここに参加することだけを目的とせずに入ってもらったための声かけの材料として加入促進の強化をお願いしたい。

◆**加入促進について**
・ 新採用研修時のガイダンスだけでは浸透していないのが現実。「行ってみようだった」と身近なところでの声かけをお願いしたい。6月29日のコーヒーマーケットも、ここに参加することだけを目的とせずに入ってもらったための声かけの材料として加入促進の強化をお願いしたい。



<http://www.iwatekensyoku.or.jp>

— 県職労ホームページリニューアル —

8月から 新しいホームページへ 生まれかわります

県職労では、これまでの県職労ホームページをリニューアルし、8月から新しいページで公開を始めます。新しいサイトでは、組合員専用ページを設け、組合員だからこそ知り得る情報をタイムリーに発信するほか、一般向けのページも設け、県職労の活動をアピールしていきます。

今後、徐々に内容の充実を図っていきたくと考えておりますので、組合員の皆さんのご意見、ご要望をお寄せ願いたいと思います。なお、組合員専用ページにアクセスするためには、専用のパスワード等が必要となります。この情報は、別途お知らせします。皆さんに愛されるホームページをめざして「更新」していきますので、注目をお願いします。



年度末退職者の完全補充を求め、人事課総括長との交渉



大槻人事課総括課長に要求書を手わたす遠藤議長



小笠原県土整備企画室管理課長に要請書を手わたす遠藤議長



及川農林水産企画室管理課長に要請書を手わたす遠藤議長



宮管財課長に要請書を手わたす遠藤議長

現業評議会 年度末退職者補充求め知事あて要求書提出 該当の主管課にも「正規職員」での補充を要請

県職労現業評議会（遠藤 哲美議長）は7月12日、今年度末に退職を予定している現業職員の完全補充を求めて大槻人事課総括課長に知事あて要求書を提出した。

大槻人事課総括課長は、「（不補充が続いたことあり）現業の皆さんも苦労

している状況を見ている。現場の実態を率直に教えていただきたい。新規採用の要望とともに、年金との接続をどうしていくかもあり、十分に検討していく」と述べた。

現業評議会はその後、今年度末退職予定者の所属する主管課等（農林水産企画

室・県土整備企画室・管財課）に対しても、臨時職員への定数振替ではなく正規職員で必ず補充するよう求めて要請書を提出した。

久慈支部が新体制確立

久慈支部は今年度の支部体制を確立するための役員選挙を行い22日に開票作業を行った。その結果、立候補者全員が信任され新体制がスタートした。

- | | | | |
|------|-----------------|------|-----------------|
| 支部長 | 白木 正範 (普及センター) | 執行委員 | 高橋 清隆 (林務部) |
| 副支部長 | 松橋 孝二 (経営企画部) | 同 | 中宿 勝也 (土木部) |
| 書記長 | 小野寺光文 (水産部) | 同 | 島山 英勝 (農政部) |
| 書記次長 | 佐々木茂史 (保健福祉環境部) | 同 | 佐藤 武博 (普及センター) |
| | | 同 | 藤根 貞光 (農村整備室) |
| | | 同 | 藤根 勉 (経営企画部) |
| | | 同 | 薬田 正行 (保健福祉環境部) |

483人の青年女性交流

6月7日～9日、山形県天童市で「第21回自治労東北地連青年女性夏期交流集会」が開催され、東北7県本部105単組483人（女性136人）の仲間が結集した。岩手からは10単組29人が参加し、地連の仲間と学習や交流を行った。

初日の基調講演では、足立康次労働大学講師から「労働者にとつての賃金」について講演を受け、福島県本部からは「フクシマの現状と課題」の特別報告が行われ、その後、文化交流集会が行われた。

2日目は、職種別分断会が52グループで行われ、そ

れぞれの職場における課題や実態を討論した。最終日は、吉川はじめ衆議院議員から「今日の政治課題と労働組合の役割」と題した講演を受け、労働組合に結集する意義を確認。賃金闘争や反合理化闘争、反戦反核・平和運動・政治闘争の強化を進める集会宣言を採択して交流集会を閉じた。



参加した自治労岩手県本部の青年部・女性部の面々

長期共済

退職後のための積立保障

今から加入しよう!

長期共済は、在職中に掛金を積み立て、「年金」「医療」「遺族(死亡)」の保障を自由に組み合わせ退職時に選択できる制度です。将来のために、今からはじめましょう!

ご加入にあたってはパンフレットをご覧ください。詳しくは所属する組合にお問い合わせください。

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済本部
全日本自治体労働者共済生活協同組合